

(仮称) 真駒内地区義務教育学校新築等に係る説明会議事概要

○日 時：令和5年6月8日（木） 18時30分～20時30分

○場 所：札幌市立真駒内桜山小学校 体育館

○出席者：地域住民、保護者等 ～ 約55名

札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課	～	5名
札幌市教育委員会学校教育部教育推進課	～	3名
札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課	～	3名
札幌市都市局建築部建築工事課	～	4名
札幌市都市局建築部電気設備課	～	1名
札幌市都市局建築部機械設備課	～	2名
新築基本設計委託事務所	～	3名
札幌市立真駒内桜山小学校、札幌市立駒岡小学校、 札幌市真駒内中学校 各校長・教頭	～	5名

1 開会あいさつ

～ 札幌市教育委員会生涯学習部学校配置マネジメント担当課長

- 子どもたちの学びや、多様な交流の場として、この施設がよりよいものになるよう、学校関係者の皆様に加え、地域の皆様にも内容をぜひ知っていただきたいという趣旨で、本日の説明会を開催させていただくこととした。
- この学校の新築計画の検討にあたっては、PTAの方々、地域の代表の方々、教職員の方々などをメンバーとして新築検討委員会というものを立ち上げていただき、私ども札幌市と一緒に、様々な検討を行ってきた。
- 本日は、その検討した内容を知っていただき、ご意見をいただきたい。

2 近年の整備事例及び新築計画案について【映像資料】

～ 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課施設整備係

(1) 事業スケジュールについて

- 当初は、令和7年度中に校舎が完成し、令和8年度から開校する予定となつて

いた。

- しかしながら、様々な事情が重なり、早くて令和8年度末に校舎・屋内運動場が完成し、開校は令和9年度以降となる見込み。
- 事業スケジュールが遅れてしまう事情としては、令和6年度からの週休二日制の厳格化により、札幌市発注の公共工事の工事期間が軒並み延長されることにある。
- また、近年の資材、燃料、人材不足や物価上昇に加え、北海道新幹線等の大型公共工事の発注が重なることから、準備期間や資機材の納期等に時間を要していることも理由。
- できる限り早く整備が完了するよう関係者一丸となって検討を進めている。
- 詳細な事業スケジュールが判明次第、地域の皆様には改めてお知らせしたい。

(2) 新築における施設整備の目標

- 「多様で柔軟な学習空間」、「健やかな学習・生活環境」、「地域との円滑な連携」、「環境への配慮」の4つの項目を目標として施設計画を行っている。

(3) 近年の整備事例の紹介

- 写真をもとに、近年改築した学校において整備しているワークスペース、多目的室、バリアフリー対策、避難所としての整備、環境配慮について説明。

(4) 施設計画概要・通学区域（案）について

- 校舎棟・第2屋内運動場を新築する。
- また、校舎棟には児童会館と多目的ホールを併設する。
- 前期課程（小学校段階）の通学区域については、子どもたちのへの影響を考慮し、通学実態をもとに、現在の真駒内桜山小学校の通学区域を生かした案としている。
- また、後期課程（中学校段階）の通学区域については、小中一貫した教育の観点から、現在の真駒内桜山小学校と駒岡小学校の通学区域を合わせた案としている。
- 指定変更区域については、いただいたご意見を参考としながら、教育委員会が

諮問する通学区域審議会で決定し、その結果を皆様にお示しする。

(5) 配置計画案・平面計画案について

- 配置図・平面図をもとに、校舎等の配置や各教室等について説明。

3 質疑応答

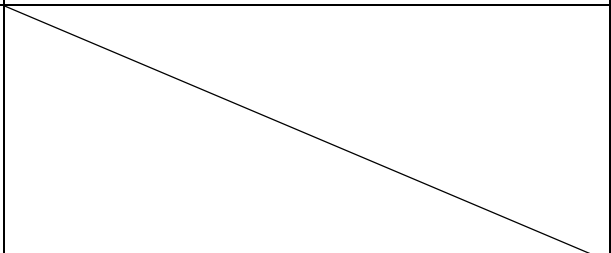
(1) 質疑

NO	主な質問・意見の概要	回 答
1	今回の説明会は、夕方の1回のみとのことだが、働いている方は、平日の夕方1回のみで開催では参加できない方がたくさんいると思う。昨年の説明会は3回に分けて土曜日も開催していた。多くの方が参加できるよう複数回開催しないのか。	開催案内に記載しているが、本日の説明会に参加できなかった方に対しては、配付した資料を札幌市のホームページに掲載し、広くご意見をいただくことを考えている。
2	学校規模についてどのようなシミュレーションを行い、平面案の教室数としたのか。真駒内駅前の再開発後に若い世代が移り住んできて、児童生徒数が増加する可能性もあると思うが、都市計画を担当している部署と連携しているのか。	都市計画を担当している部署との連携は行っている。再開発により、すぐに教室が足りなくなるとは考えていない。
3	真駒内南町1号線沿いに昇降口を設置したのか。真駒内団地3号線沿いの給食出入口側を昇降口にした方が安全ではないか。	既存校舎を残したまま、新校舎を現在のグラウンド位置に建設することから、現在の昇降口付近以外は道路と敷地の間に高低差が存在している。1階部分の段差がない状態で学校に入ることを検討した結果、現在の案となった。また、車両動線と歩行動線が重ならないよう

		に配慮した。
4	<p>校舎から第2グラウンドまで2回道路を横断しなければならない。</p> <p>安全対策は十分にされるのか。</p> <p>通学時とは異なり、昼休み等に先生の見守りがなければ安全対策に不安を感じる。</p>	<p>グラウンドについては、小学校段階・中学校段階が十分に活用できるように第2グラウンドの整備を行う。</p> <p>第2グラウンドまでの移動の安全確保については、現在検討している最中であるが、校舎から第2グラウンドまでの道路は通学路に指定されており、著しく危険な道路とまでは認識していない。</p> <p>ただし、安全面についての検討は重要であると思っており、今後、学校とも相談しながら学年ごとの対応策について考えていく。</p>
5	<p>第2グラウンドまでの安全に懸念があるのであれば、地下歩道でつなげることや、歩道橋を作ることはできないのか。</p> <p>以前住んでいた市町村では、学校とグラウンドが離れており、交通安全面を考慮し地下歩道を通れるようになっていた。</p>	<p>現在のところ、N04のような認識であり、地下歩道以外の対応を検討していく予定であるが、ご意見として参考にさせていただく。</p>
6	<p>平面計画案では、2階に、保健室・心の教室・教育相談室が1室ずつあり、前期課程・後期課程両方で使用することになるかと思うが、一つの部屋で発達段階が異なる小中学生の対応が可能なのか。</p>	<p>保健室については、通常の校舎よりも1.5倍ほどの広さとするとともに、連携を考慮し、保健室と教育相談室を並べた。</p> <p>視察に行った義務教育学校（京都市立向島秀蓮小中学校）では、保健室に間仕切りを付けて多様な子どもに対応でき</p>

		るように運用していたため、同様の対応は可能と認識している。
7	トイレを低学年と高学年が共同で使用することに對して、低学年が高学年から悪い影響を受ける可能性もあるのではないか。そういうことがないよう配慮していくことが必要。	低学年と高学年、前期課程と後期課程の児童生徒が同じ校舎で生活する利点を生かせるよう、縦のつながりをより意識した教育課程にしていくことが望ましいと考える。 今後、学校とも協議を行いながらより良い学校づくりを行っていきたい。
8	特別支援教室は4室しかないが、今後、特別支援学級の児童生徒が増えた時に對応できるのか。特別支援学級の児童は、卒業まで同じクラスで過ごすことが多いが、児童が多くなることで、学年をまたいだクラスができる可能性はないのか。	特別支援学級の学習室・プレイルームについては、1・2階に配置しており、各階に多目的室があるので、間仕切りをすることにより、児童生徒数の増加に對応可能と見込んでいる。また、多目的室の数は他の学校に比べ充実している。
9	特別支援学習室に関する質問だが、特別支援学級の児童は、8～9年生と同じ階になるのか。	1～4年生、5～7年生、8～9年生で区切り、各階に教室を配置する案としている。 8～9年生の教室と後期課程の特別支援学級の教室は、同じ1階に配置することを想定している。 1～4年生と前期課程の特別支援学級の教室は、職員室近傍に配置することが望ましいと考え2階とした。 5～7年生の教室は、使用する機会が多い特別教室の近傍に配置した。
10	配置計画案を見る限りプールが見当たらないが、どこにあるのか。プールを	プールについては、建設を予定していない。理由としては、年に数日しか使わ

	<p>設置しないのであれば、その理由が知りたい。</p>	<p>ない中での管理の負担が挙げられる。</p> <p>全市的な動きとして、バス等で移動し、近隣の公共施設や民間施設のプールを使用することとし、新改築校にはプールを設置しない方針としている。(仮称)真駒内地区義務教育学校についても同様の取り扱いとしている。</p>
11	<p>すでに基本設計が終わった段階で大きな変更を行うことは難しいと思うが、校舎の位置を奥ませるなど検討していただけるとありがたい。</p> <p>教室が真駒内南町1号線に面しているので、道路の歩行者からの視線が気にならないように目隠しをするなど配慮していただければありがたい。</p>	<p>道路から入口へのアプローチについては、入口と校舎の距離を大きくとることは難しかったが、現状の学校位置と同程度の距離を守っていると認識している。また10mくらいの距離を取っているので、それほど圧迫感は感じないと思われるが、校舎3階の高さは丁度体育館と同じ程度の高さになる。</p> <p>道路の歩行者からの視線については、道路沿いに樹木を植えるため、目隠しの効果が期待できる。</p>
12	<p>建設工事では重機の出入りもあるかと思うが、安全対策についてはどのように考えているか。また、工事中の騒音に対して、どのような対策を取るつもりか。</p>	<p>実施設計を進めていく中で、工事車両の動線や騒音対策について計画を立て、学校と共有していきたい。</p> <p>工事に先立って、説明会を開催し、具体的な対策について地域の皆様にご説明する機会を設ける予定。</p>
13	<p>現真駒内中学校の解体について、去年は令和8年4月以降の解体と伺っていたが、事業スケジュールに変更はあるか。</p>	<p>現段階では、令和8年度中に解体する想定に変更はない。</p>

14	<p>義務教育学校のメリット・デメリットをしっかりと確認した上で、子どもたちのためになるような学校づくりをしていくことが必要と考える。</p>	<p>義務教育学校のメリットは、9年間を通じた学びがあるということ、小中のギャップの解消につながる事が挙げられる。また、小中の教員組織が1つになり、一人の校長が学校運営を行っていくことで、これまで以上に教員同士の深い連携が生まれるとともに、9年間を通して子どもを見守ることができるので、子どもたちにより良い教育環境を提供できると認識している。</p> <p>中学校は教科担任制となっているが、小学校段階から教科担任の授業を受けるなど、小学校との環境の違いに慣れることができるような配慮も可能となる。</p> <p>デメリットについては、義務教育学校となることで、小学校6年生のリーダーシップを発揮する機会が無くなるとよく言われることがある。6年生の段階で進級式を行うなど、メリハリをつけたり、1～9年生の指導区分を3つに分け、各区分の最高学年がリーダーシップを発揮できるような機会を作ったりするなど、学校づくりの検討を進めていく上で、学校とも相談し検討していきたい。</p>
15	<p>義務教育学校のメリット・デメリットについて、札幌市ホームページで確認したが、教科担任制への対応など、より質の高い教育を受けられることが素晴ら</p>	

	しいと感じた。	
16	<p>学校がものすごく大きくなることが一番の課題と考えている。</p> <p>学校の大規模化を解消することが、きめ細かい教育のための一番の方策であり、9年間連続しているからきめ細かいとは言えないのではないか。</p>	<p>国が定める標準の学校規模は、18学級以上27学級以下とされている。</p> <p>(仮称)真駒内地区義務教育学校の学校規模は、700～800人と想定しているため、標準規模に収まっていると認識している。</p> <p>教職員数は、通常の小中学校と同じ人数を配置する予定。また、管理職については、校長・副校長・教頭を各1人配置する。2校分の管理職の残り枠1人については、教職員に回すことになる。</p> <p>そういった職員の振り分けを検討している。</p>
17	<p>駒岡小は閉校しないということで良いか。</p> <p>また、駒岡小から義務教育学校に進学した場合、学校まで距離があるが、スクールバスはないのか。</p>	<p>現時点で閉校の予定はない。</p> <p>スクールバスは導入しておらず、通学定期助成の対象にはなっていない地域である。</p>
18	<p>小学校段階から9年間義務教育学校に通っている子どもと、駒岡小から進学し、途中から義務教育学校に通う子どもにカリキュラム等に差が生まれぬか。</p>	<p>義務教育学校と駒岡小をパートナー校とする予定なので、より連携が深まるような仕組みを作っていきたい。</p> <p>例えば、宿泊研修を一緒に行ったり、合同授業を実施したりするなどの取組をする中で、交流を図っていければ、スムーズな進学に繋がると考えている。</p> <p>学校づくりの検討の際には、駒岡小の</p>

		校長先生にもご協力いただきながら進めてまいる。
19	小学校段階と中学校段階で授業時間が異なるがチャイムはどうなるのか。	チャイムについては、共通の時刻では鳴らし、他の時刻は鳴らさないという対応が考えられる。 今後、学校と協議して検討する。
20	義務教育学校の学校名はどうなるのか。卒業生が誇れるような学校名にしてほしい。また、どのようなプロセスで決まるのか。制服はなくなるのか。	学校名については、現在未定。 他の義務教育学校は、現在公募中で「札幌市立義務教育学校〇〇学園」の〇〇の部分で公募している。真駒内地区についても今後公募により決定する予定。 制服については、学校としてどういう制服が良いのか、これから検討していくことになるので現在未定。
21	真駒内東町1・2丁目（資料P3の①の地域）に住んでおり、子どもが令和8年度に中学校に進学するが、指定校が真駒内中学校から真駒内曙中学校に変わるのはいつからか。指定校を確認して自宅を購入したことから、急に変更となることに戸惑いを感じる。義務教育学校も選択可能としてほしい。	通学区域については、皆様からの意見を参考にしながら、最終的に決定していきたい。

(2) 今後の流れなど

- 今後、設計を進めていくにあたり、地域の皆様方のご意見等をお伺いしながら、できるものは反映していきたいと考えている。
- また、次第の下段に記載しているとおり、ご意見等があれば、7月31日（月）までに、教育委員会学校施設課宛に書面にて提出をお願いしたい。

- また、本日、参加できなかった地域の皆様に向けては、札幌市のホームページに今回の資料や議事録を掲載するとともに、7月3日から7月31日までの期間は、真駒内中学校、真駒内桜山小学校、駒岡小学校、真駒内まちづくりセンター、真駒内五輪児童会館で閲覧できるようにし、ご意見をお寄せいただくことを考えている。

4 閉会あいさつ

～ (仮称) 真駒内地区義務教育学校新築検討協議会委員長 真駒内桜山小学校長

- 会議の中で何度も出てきた言葉が、「子どものために」という言葉だった。その思いはみな一緒だと強く感じた。
- こんなにも子どもたちが地域の方々に支えられていることを改めて実感した。
- 今後とも子どもたちの健やかな成長のためにお力添えを賜ればと思う。どうぞよろしくをお願いしたい。

当日の説明・回答への補足等

NO	質問・意見の概要	回答																																																																																
1	<p>開催案内について、配られていない家庭があると聞いた。なぜ配られていないところがあるのか。</p>	<p>開催案内につきましては、業者に委託し、真駒内中学校の通学区域内の全世帯にポスティングしております。 なお、真駒内桜山小学校、駒岡小学校、真駒内中学校の保護者には、ポスティングに加えて、学校を通して配布しております。</p>																																																																																
2	<p>想定する児童生徒数が700～800人との説明があったが、どのような根拠なのか。 今年度の真駒内桜山小学校、駒岡小学校、真駒内中学校の児童生徒数を合わせると約1000人となるが、たった3、4年で300人も減るとは思えない。</p>	<p>札幌市立小・中学校の児童数・生徒数の推計は、住民基本台帳による幼児数、推計作成年度時点での児童・生徒数の人数を基に、私立学校への入学や校区外への通学、校区外からの通学、住宅販売状況などの影響による社会増減などを考慮して算出しております。 真駒内桜山小学校、駒岡小学校、真駒内中学校の令和4年度の実績値と令和5年度から令和10年度までの推計値は以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="616 768 1458 1066"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">真駒内桜山小学校</th> <th colspan="2">真駒内中学校</th> <th colspan="2">合計</th> <th colspan="2">【参考】駒岡小学校</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> <th>児童生徒数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度（実績）</td> <td>605</td> <td>18</td> <td>376</td> <td>11</td> <td>981</td> <td>29</td> <td>80</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>令和5年度（推計）</td> <td>570</td> <td>18</td> <td>366</td> <td>12</td> <td>936</td> <td>30</td> <td>78</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>令和6年度（推計）</td> <td>540</td> <td>18</td> <td>337</td> <td>11</td> <td>877</td> <td>29</td> <td>77</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>令和7年度（推計）</td> <td>501</td> <td>17</td> <td>313</td> <td>9</td> <td>814</td> <td>26</td> <td>85</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>令和8年度（推計）</td> <td>473</td> <td>16</td> <td>294</td> <td>9</td> <td>767</td> <td>25</td> <td>87</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>令和9年度（推計）</td> <td>442</td> <td>15</td> <td>279</td> <td>9</td> <td>721</td> <td>24</td> <td>81</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>令和10年度（推計）</td> <td>417</td> <td>14</td> <td>269</td> <td>9</td> <td>686</td> <td>23</td> <td>81</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特別支援学級を除く ※特別支援学級は令和4年度実績で真駒内桜山小学校：14人/3学級、真駒内中学校：11人/2学級 ※合計の学級数は義務教育学校となった場合の想定学級数 ※駒岡小学校にお住まいの方は、義務教育学校（前期課程）への指定変更が可能です。</p>		真駒内桜山小学校		真駒内中学校		合計		【参考】駒岡小学校		児童数	学級数	生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童数	学級数	令和4年度（実績）	605	18	376	11	981	29	80	6	令和5年度（推計）	570	18	366	12	936	30	78	6	令和6年度（推計）	540	18	337	11	877	29	77	6	令和7年度（推計）	501	17	313	9	814	26	85	6	令和8年度（推計）	473	16	294	9	767	25	87	6	令和9年度（推計）	442	15	279	9	721	24	81	6	令和10年度（推計）	417	14	269	9	686	23	81	6
	真駒内桜山小学校			真駒内中学校		合計		【参考】駒岡小学校																																																																										
	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童数	学級数																																																																										
令和4年度（実績）	605	18	376	11	981	29	80	6																																																																										
令和5年度（推計）	570	18	366	12	936	30	78	6																																																																										
令和6年度（推計）	540	18	337	11	877	29	77	6																																																																										
令和7年度（推計）	501	17	313	9	814	26	85	6																																																																										
令和8年度（推計）	473	16	294	9	767	25	87	6																																																																										
令和9年度（推計）	442	15	279	9	721	24	81	6																																																																										
令和10年度（推計）	417	14	269	9	686	23	81	6																																																																										
3	<p>現時点で、学校をなくすという判断をするのは非常にリスクに思える。国の学校規模の適正基準に収まっていれば、なんでも良いのか。 国の基準のみで判断するのではなく、現場の子どもたちの目線で、より良い教育環境を考えるべき。まずは、真駒内中が残る場合とそうでない場合のそれぞれの計画案を出し、その案を比較検討することが必要。 決定事項ではないので、一旦今の計画案を撤回し、地域・保護者・子どもと一緒にゼロから地域にとって理想の学校を考えていくべき。</p>	<p>義務教育学校になることで教員数が減ることはなく、むしろ小中教員の多様な視点で子どもの良さを踏まえ支援することができることを認識しております。 加えて、義務教育学校においては、小学校段階と中学校段階の9年間をひとまとまりとして捉えることにより、従前の同世代の集団での学ぶ機会に加え、より多様な児童生徒や教職員と関わる機会が増えることから、集団性、社会性の育成にも繋がると考えております。 一方で、義務教育学校に対してご不安を抱えている保護者や地域の方々もいらっしゃると思うので、開校準備に向けた検討委員会などで十分に意見交換を行い、ご不安の解消やより良い学校づくりに努めてまいりたいと考えております。</p>																																																																																